

AREC・Fi i プラザ 第 203 回リレー講演会 (IoT・AI 分野)

■日時：平成 30 年 7 月 19 日 (木) 14:00～17:00

※終了後 (17:00～) 名刺交換交流会開催

■会場：信州大学繊維学部内 AREC (上田市産学官連携施設 4 階)

講演 1

14:00～15:00

【演題】「人工知能による今後 30 年の破壊的変化」

講師：富士通株式会社 オファリング推進本部 AI & IoT オファリング統括部
オファリング企画部 部長 及川 洋光 氏

【概要】人類はこれまでに様々な革命を経験してきた。しかし、これから人類最大のパラダイムシフトが始まろうとしている。人工知能で 2020 年、2030 年、2040 年と、どのように人類が進化していくのかを紹介。また、2018 年の時点での人工知能や最先端テクノロジーで、どんなことが出来るのかを具体的なデモで紹介する。

講演 2

15:00～16:00

【演題】「日本最大の AI インテグレーターを目指して」

講師：富士ソフト株式会社 執行役員 イノベーション統括部 統括部長 八木 聡之 氏

【概要】富士ソフトがコミュニケーションロボットの開発に合わせて AI 研究を始めて約 10 年。システムインテグレーターとして基礎研究センターの活動から AI コンサルティングを交えて企業に AI 技術を導入していくまでの過程や苦労話をご説明します。また富士ソフト以外の企業との取り組みとして、日本ディープラーニング協会 (JDLA) における産業促進活動のご説明や、AI ベンチャーとの協業に向けた活動に関するご説明、さらには社内で実施している AI 人材の教育についてもご説明させて頂くことで、AREC にご参加頂いている企業の方々にとって、今後の AI 活用のヒントにして頂ければ幸いです。

休憩

講演 3

16:00～17:00

【演題】「AI なんて、こわくない」

講師：信州大学工学部 電子情報システム工学科 教授 香山 瑞恵 氏

【概要】狩猟社会、農耕社会、工業社会、情報社会の変化を経験した人は、社会のコンピュータシステムの進化に対応して、様々な課題や労務を機械とコンピュータへ託してきました。この仕組みは、今後、AI と共に大きく変わっていきます。今こそ、AI の本質を理解し、これからの社会変化に柔軟に対応する準備をする時です。一緒に AI のことを学びましょう。まず、AI でできること・できないことを、その歴史的变化から概観しつつ、身の回りの AI の裏側をご紹介します。そこには、IoT が深く関わっています。その上で、近年提案されたキラーテクニック：ディープラーニングの特徴を整理して、今後の技術変化の方向性を探ってみたいと思います。

●お申し込み先 AREC・Fi i プラザ事務局 宛

電話 (0268-21-4377) メール (mousikom@arecplaza.jp) FAX (0268-21-4382)

下記を FAX またはメールでお送りください。テキストの準備等のため、なるべく事前申し込みをお願いします。

AREC・Fi i プラザ 第 203 回リレー講演会 参加申込書

(平成 30 年 7 月 19 日)

企業・機関名			
参加者名			
所属・役職	電話番号		
メールアドレス	FAX 番号		

※ご記入いただいた個人情報 (御社名、所属・役職、氏名) は受付名簿としてのみ使用し、他の用途には一切利用いたしません